

平成17年3月期 第3四半期業績の概況 及び通期業績予想の修正について(連結)

平成17年2月17日

上場会社名 ジグノシステムジャパン株式会社 上場取引所 大阪証券取引所
 コード番号 4300 (ヘラクレス市場)
 (URL <http://www.gignosystem.com>)
 代表者 代表取締役社長 飯田 桂子 本社所在 東京都千代田区六番町3番地
 問合せ先責任者 取締役経営管理部長 吉浜 直人 T E L (03)3556-7737(代表)

1 四半期財務諸表の作成等に係る事項

会計処理の方法の最近連結会計年度における方法との相違の有無 : 無
 連結及び持分法の適用範囲の異動の状況 : 無
 公認会計士又は監査法人による関与の有無 : 無

2 平成17年3月期第3四半期財務・業績の概況(平成16年4月1日~平成16年12月31日)

(1) 経営成績(連結)の進捗状況

(注)記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

	売上高		営業利益		経常利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%
平成17年3月期第3四半期	3,244	(-)	471	(-)	435	(-)
平成16年3月期第3四半期	-	(-)	-	(-)	-	(-)
(参考)平成16年3月期	5,002		1,081		1,051	

	四半期(当期)純利益		1株当たり四半期(当期)純利益		潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益	
	百万円	%	円	銭	円	銭
平成17年3月期第3四半期	248	(-)	3,381	71	3,349	84
平成16年3月期第3四半期	-	(-)	-	-	-	-
(参考)平成16年3月期	605		8,729	21	8,564	89

(注) 持分法投資損益

平成17年3月期第3四半期 16百万円 平成16年3月期第3四半期 -百万円 平成16年3月期 30百万円
 期中平均株式数(連結)

平成17年3月期第3四半期 73,573株 平成16年3月期第3四半期 -株 平成16年3月期 67,048株

連結財務諸表は、16年3月決算期より作成しているため、前第3四半期及び対前第3四半期増減率は記載しておりません。

[経営成績（連結）の進捗状況に関する定性的情報等]

第3四半期会計期間におきましては、株式会社エフエム東京と資本業務提携を図るため、10月に第三者割当増資を実施し、さらに11月には株式会社エフエム東京による株式公開買付が実行されたことにより、株式会社エフエム東京の持株割合は54.06%となり、親会社が株式会社エフエム東京に異動しております。携帯電話向けビジネスに関する技術とノウハウを持つ当社とメディアを保有・運営する株式会社エフエム東京が資本業務提携することにより、放送と通信の融合による新たなビジネス展開に取り組んでまいります。また、株式会社エフエム東京との協業により、当社既存事業の強化・拡大も図ってまいります。なお、この第三者割当増資に関して、新株発行関連等の諸費用が当連結会計期間に発生しております。

インフォメーションプロバイダー事業につきましては、市場の競争が激化し、既存ユーザーの減少が見られ減収減益の要因となりました。しかしながら、携帯電話市場においては第三代携帯端末が普及し、より高機能・高品質なコンテンツ及びサービスが求められております。このような状況の中、当社では今後普及が見込まれるBREW対応ゲームサイトの提供や、より高機能・高品質で魅力あるコンテンツの開発・提供に積極的に取り組んでまいりました。また、今後はFMラジオと連動を図り、ユーザー数の増加を目指してまいります。

システムソリューション事業につきましては、新たなサービスとして、11月に携帯サイト向け画像自動変換ASPサービスを開始し、すでに大手企業をクライアントとして獲得しております。今後、本サービスにおいて、更なるクライアント数の増加を目指し事業展開を図ってまいります。また、カメラ付携帯電話ユーザー向けフォト関連サービスにつきましても、顔自動認識技術の導入によるサービス内容の強化、及び3Dムービーキャラクターサービスなどの新サービスの提供に積極的に取り組んでまいりました。

コマース事業につきましては、7月に新規事業として本格的に参入いたしました。12月末現在、ヴィレッジヴァンガード・モバイル店をはじめ8ショップを運営するに至っており、売上は順調に伸びております。Eコマース市場につきましては、課金決済システムの多様なEコマースの利用が今後増加していくと予想されますことから、本事業の更なる拡大を図ってまいります。

海外事業につきましては、12月末現在、当社グループで10カ国11キャリア8言語でサービスを提供しております。海外現地法人である英国GignoSystem Europe Limited及び米国GignoSystem America, Inc.を通じて、新たにイタリア、ギリシャ、カナダでサービスを開始いたしました。その結果、英国GignoSystem Europe Limitedにおきましては、欧州地域で7カ国7キャリア、米国GignoSystem America, Inc.におきましては、北米地域で2カ国3キャリアでサービスを提供するに至り、提供サイト数も増加するなど堅調に事業を拡大しております。

また、2005年4月から「個人情報保護法」が全面施行されるなど、情報セキュリティに対する意識及び要求が高まりつつあります。このような状況の中、当社は早くから情報セキュリティ管理に取り組んでおり、その取組みの一環として、携帯電話向け有料情報通信サービス事業者では初めてとなる「情報セキュリティマネジメントシステム（ISMS）適合性評価制度」及び英国の情報セキュリティマネジメント規格「BS 7799：PART 2：2002」の認証を9月に取得いたしました。なお、この認証取得に関する諸費用が当連結会計期間に発生しております。

この結果、当第3四半期連結会計期間の売上高は32億44百万円、営業利益4億71百万円、経常利益につきましては4億35百万円、四半期純利益は2億48百万円となりました。

(2) 財政状態（連結）の変動状況

	総資産	株主資本	株主資本比率	1株当たり株主資本	
	百万円	百万円	%	円	銭
平成17年3月期第3四半期	10,139	8,871	87.5	95,625	52
平成16年3月期第3四半期	-	-	-	-	-
(参考)平成16年3月期	5,483	4,133	75.4	60,965	03

(注) 期末発行済株式数

平成17年3月期第3四半期 92,774株 平成16年3月期第3四半期 - 株 平成16年3月期 67,474株
 期末自己株式数
 平成17年3月期第3四半期 - 株 平成16年3月期第3四半期 - 株 平成16年3月期 - 株

[財政状態（連結）の変動状況に関する定性的情報等]

当四半期における総資産は、10,139百万円となり前連結会計年度に比べ4,656百万円の増加となりました。10月に株式会社エフエム東京に対する第三者割当増資を実施したことを主な理由として、現金及び預金を中心に流動資産が4,302百万円増加いたしました。また、投資有価証券の評価替え及びギズモプリュス社からの営業権の譲受等により固定資産が353百万円増加いたしました。

負債に関しましては、流動負債が226百万円減少し、固定負債が144百万円増加しております。これは、主として未払法人税の減少、及び投資有価証券の評価替えに伴う繰延税金負債の増加によるものであります。

この結果、株主資本につきましては、前連結会計年度末より4,738百万円増加し、8,871百万円となっております。

3 平成17年3月期の連結業績予想の修正（平成16年4月1日～平成17年3月31日）

平成16年5月20日に公表いたしました平成17年3月期の連結通期業績予想を下記のとおり修正いたします。

(単位：百万円)

	売上高	経常利益	当期純利益
前回発表予想(A)	5,600	1,240	710
今回修正予想(B)	4,281	569	722
増減額(B-A)	1,319	671	12
増減率(%)	23.6%	54.1%	1.7%
前期(平成16年3月期)実績	5,002	1,051	605

(参考)1株当たり予想当期純利益(通期) 7,786円25銭

[修正の理由]

売上高につきましては、売上割合の9割以上を占めるインフォメーションプロバイダー事業において、課金対象ユーザー数が減少したこと、及び海外事業において、海外市場が未だ発展途上であることから、本格的な売上の貢献は来期以降となったことにより、売上高が前回業績予想に対して未達となる見込みとなりました。また、海外事業、コマース事業など新規事業への積極的な投資、第三者割当増資による新株式発行関連諸費用、I S M S 認証取得関連諸費用等が当期に発生したことにより、経常利益は、前回発表を下回る見込みとなりました。なお、当期純利益は投資有価証券の売却により、予想を上回る見込みとなっております。

上記に記載した予想数値は、現時点で入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、多分に不確定な要素を含んでおります。実際の業績等は、業況の変化等により、上記予想数値と異なる場合があります。

【添付資料】

1 (要約)四半期連結貸借対照表

区分	当第3四半期連結会計期間末 (平成16年12月31日)		前連結会計年度 要約貸借対照表 (平成16年3月31日)	
	金額(千円)	構成比 (%)	金額(千円)	構成比 (%)
(資産の部)				
流動資産				
1 現金及び預金	7,024,273		2,685,679	
2 売掛金	1,173,051		1,295,532	
3 たな卸資産	8,893		-	
4 その他	158,828		85,564	
5 貸倒引当金	10,573		14,888	
流動資産合計		8,354,473		4,051,888
固定資産				
1 有形固定資産				
(1) 器具及び備品	108,630		127,093	
(2) その他	19,124		16,654	
有形固定資産合計	127,754		143,747	
2 無形固定資産	77,623		55,237	
3 投資その他の資産				
(1) 投資有価証券	1,405,347		1,082,767	
(2) その他	174,720		150,184	
投資その他の資産合計	1,580,067		1,232,951	
固定資産合計		1,785,445		1,431,937
資産合計		10,139,919		5,483,825
		100.0		100.0

区分	当第3四半期連結会計期間末 (平成16年12月31日)		前連結会計年度 要約貸借対照表 (平成16年3月31日)	
	金額(千円)	構成比 (%)	金額(千円)	構成比 (%)
(負債の部)				
流動負債				
1 買掛金	602,159		652,679	
2 未払法人税等	-		170,343	
3 賞与引当金	19,507		36,587	
4 その他	183,034		171,707	
流動負債合計		804,701		1,031,318
				18.8
固定負債				
1 繰延税金負債	463,656		318,953	
固定負債合計		463,656		318,953
				5.8
負債合計		1,268,357		1,350,271
				24.6
(資本の部)				
資本金	3,324,494	32.8	1,126,896	20.6
資本剰余金	3,251,653	32.1	1,054,054	19.2
利益剰余金	1,591,956	15.7	1,464,362	26.7
その他有価証券 評価差額金	700,836	6.9	489,989	8.9
為替換算調整勘定	2,620	0.0	1,749	0.0
資本合計		8,871,561		4,133,554
				75.4
負債資本合計		10,139,919		5,483,825
				100.0

2 (要約) 四半期連結損益計算書

区分	当第3四半期連結会計期間 (自 平成16年4月1日 至 平成16年12月31日)		前連結会計年度 要約損益計算書 (自 平成15年4月1日 至 平成16年3月31日)			
	金額(千円)	百分比 (%)	金額(千円)	百分比 (%)		
売上高		3,244,219	100.0	5,002,706	100.0	
売上原価		1,899,322	58.5	2,942,140	58.8	
売上総利益		1,344,896	41.5	2,060,565	41.2	
販売費及び 一般管理費		873,666	26.9	978,569	19.6	
営業利益		471,230	14.5	1,081,996	21.6	
営業外収益		4,616	0.1	624	0.0	
営業外費用		40,818	1.2	31,108	0.6	
経常利益		435,028	13.4	1,051,512	21.0	
特別利益		32,126	1.0	1,139	0.0	
特別損失		24,480	0.8	2,745	0.0	
税引前四半期 (当期)純利益		442,674	13.6	1,049,906	21.0	
法人税、住民税 及び事業税	167,299			428,607		
法人税等調整額	26,570	193,869	6.0	16,015	444,623	8.9
四半期(当期)純利益		248,804	7.7	605,283	12.1	